

ペリーとアヘンの授業 (産業革命からペリー来航・幕末まで)

2015/5

資料プリントの目次

前篇

- 1 ペリーが来た時、日本はどう考えたか
- 2 アヘン・麻薬のほんとうの姿とは？
- 3 アヘン戦争の原因は何でしょう。

後編

- 4 インド大反乱を日本人も知っていた
- 5 イギリスの布が世界を変えてしまった
- 6 イギリスが植民地のインドにしたこと
- 7 もし、あなたが坂本龍馬なら？
- 8 開国した結果、日本はようになったのだろう。
- 9 最後に・・・私たちの生活の基礎はイギリスが作ってくれた

実際に授業をやるなら・・・歴史の流れに従った順番で

ねらい 単なる暗記ではなく、なぜかを理解する。

- ① 幕末の人々が、開港か攘夷かで悩んでいたのは、アヘン戦争とインド植民地化を知っていたためだった。
- ② アヘン戦争の原因も、インドの植民地化も、貿易が起こした問題である。
- ③ 日本が、世界貿易に組み込まれるかどうか、ペリー来航の意味だった。
- ④ インドの植民地化とアヘン戦争は、やがて世界大戦へとつながっていく。
- ⑤ 身近な今の生活も、産業革命のイギリスと植民地だったインドの関係と無関係ではない。そのしくみは今も存在する。

授業の構成 このプリントの構成とは逆に、歴史の流れに従って生徒用に構成

1 産業革命でイギリスは布を大量生産した。

- ・安くて軽い布の大量生産
- ・どこに売っていったか？・・・グラフ

2 インドの植民地支配

- ・インド綿産業の撲滅
- ・植民地支配の構造・・・資料プリント

3 アヘン戦争

- ・アヘンとは？・・・資料プリントと写真
- ・イギリスでは紅茶が大流行
- ・イギリスの三角貿易
- ・アヘン戦争・・・絵とグラフ

4 もしも坂本龍馬なら

- ・もし坂本龍馬ならどう考えるか・・・意見まとめプリント
- ・幕末の志士たちの考え・・・プリント

5 開国の結果

- ・イギリスの貿易額、ばく大な量へ・・・円グラフ
- ・物価上昇、尊王攘夷運動過激化へ
- ・攘夷実行の長州藩、薩摩藩は倒幕運動へ

・・・このあとは、**4**の意見まとめプリントを参考にしながら進めていく